

住民、議員の
みなさんへ

第11回 地方自治研究全国集会 in 埼玉



第3テーマ

「地域主権改革」の争点と
国・自治体の役割
講師 二宮厚美（神戸大学）



第2テーマ

「社会保障・税の一体改革」と
社会保障のあり方
講師 日野秀逸（東北大学）



第1テーマ

地域経済再生、震災復興、再生可能
エネルギーいかす地域づくり
講師 岡田知弘（京都大学）

ナイター講座 9月29日（土）



講師 阿部 彩
国立社会保障・人口問題研究所
社会保障応用分析研究部長

記念講演 9月29日（土）
すべての人に、
暮らしを守る
セーフティネットを（仮題）

憲法をいかに、 安心して住み続けられる 地域、日本を

9月30日（日）
31の分科会・講座を
開催します



2012年
9月29日（土）▶ 30日（日）
埼玉・大宮ソニックシティ

【主催】

第11回地方自治研究全国集会実行委員会

原研問題住民運動全国連絡センター、公害・地球環境問題懇談会、国民医療研究所、自治体問題研究所、自由法曹団、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、新建築家技術者集団、新日本婦人の会、全国借地借家人組合連合会、全国商工団体連合会、全国生活と健康を守る会連合会、全国地域人権運動総連合、全国保育団体連合会、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合会、日本科学者会議、日本母親大会連合会、日本婦人団体連合会、農民運動全国連合会、民主教育研究所、日本自治体労働組合総連合会、埼玉・現地実行委員会（よびかけ賛同団体）全国労働組合総連合、中央社会保障推進協議会、日本平和委員会

【事務局】

自治労連（日本自治体労働組合総連合）
〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 自治労連会館
TEL.03-5978-3580 FAX.03-5978-3588
E-mail / info@jichiroren.jp http://www.jichiroren.jp/
写真提供：
株父夜祭 月夜 / 埼玉県観光フォトグラファー 三好社 -
蔵酒の街並み / (社) 埼玉県産観光協会

開催要項

- 日時/場所 2012年9月29日(土) 12:45~19:00 30日(日) 9:30~15:30
埼玉・大宮ソニックシティ
- 主催 第11回地方自治研究全国集会実行委員会(事務局:自治労連)
- メインスローガン 憲法をいかし、安心して住み続けられる地域、日本を
- 規模 3,000人
- 参加費

	自治体職員・議員など自治体関係者	住民団体、個人、学生
2日間参加	6,000円	2,000円
1日のみ参加	3,000円	1,000円

※障害者の介助者については、参加費は免除します。
 ※2日目(30日)の弁当(1,000円、お茶つき)を販売します。必要な方は下記の申込書に記入してお申し込みください。
 ※保育室は1日目(29日)、2日目(30日)とも大宮ソニックシティ内に設けます。下記の申込書に記入し事前にお申し込みください。

●宿 泊 さいたま市内もしくは近辺のホテル

区分	シングル利用料金	ホテル名
A	12,500円	浦和ロイヤルパインズホテル
B	10,000円	ホテルメッツ浦和
C	9,500円	ラフレさいたま、浦和ワシントンホテル
D	9,000円	パイオランドホテル、川越東武ホテル
E	8,500円	マロウドイン大宮、川越第一ホテル、上尾東武ホテル
F	8,000円	アウルホテル大宮、プラザホテル浦和、ホテルニュー埼玉、川口センターホテル、ホテルメイツ上尾
G	7,000円	与野第一ホテル、イーホテルワラビ※、マークスイン西川口、ホテルルートイン上尾

- ・お申し込みは、ホテル区分で申し込みいただき、後日ホテル名・宿泊料についてご連絡します。
- ・空室状況によっては、ご希望どおりの区分のホテルに予約できない場合もございます。ご了承ください。
- ・シングル部屋のほか、部屋数は少なくなりますがツイン部屋もあります。
- ・表の料金は1泊朝食(税・サービス料込)のシングル料金です。ツイン部屋は2名様1室利用で一人様の料金は、シングル料金の△500円から△2000円の間の金額になります。
- ・宿泊をキャンセルされる場合は、10日(9月18日)前までをお願いいたします。それ以降のご連絡については、キャンセル料がかかります。
- ・※印のホテルで、無料朝食サービスを利用する場合は△800円です。

参加及び弁当申し込み

受付開始/7月 9日(月)
締め切り/9月14日(金)

宿泊を伴う参加申込みは

締め切り/9月10日(月)
*お早めにお申し込みください。

申込み・集会内容についてのお問い合わせ

実行委員会事務局:自治労連

TEL 03-5978-3580 FAX03-5978-3588
 集会の最新情報は自治労連ホームページ
 (<http://www.jichiroren.jp>) をご覧ください。

第11回地方自治研究全国集会 申込書

実行委員会事務局:自治労連
FAX.03-5978-3588

フリガナ			男 ・ 女	都道府県	所属団体・職場等
氏名					
連絡先 (自宅/職場)	住所	〒()			
	電話番号	都道府県	市区町村	FAX	
参加する日および分科会等 (該当する日に✓印を)	<input type="checkbox"/> 9月29日(土)・ <input type="checkbox"/> 9月30日(日)		分科会・講座番号を記入		※注
保育室の利用	<input type="checkbox"/> 要	利用日	(年齢 歳)	弁 当 (どちらかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 要・ <input type="checkbox"/> 不要
宿 泊 (どちらかに✓を)	<input type="checkbox"/> 申込まない・ <input type="checkbox"/> 申込む		希望するホテル (該当区分に✓印)	<input type="checkbox"/> A・ <input type="checkbox"/> B・ <input type="checkbox"/> C・ <input type="checkbox"/> D・ <input type="checkbox"/> E・ <input type="checkbox"/> F・ <input type="checkbox"/> G	
	喫煙部屋	<input type="checkbox"/> 希望する・ <input type="checkbox"/> しない		ツインの申込み	<input type="checkbox"/> 希望する(同室者氏名:)
参加費 (どちらかに✓印を)	自治体職員・議員など 自治体関係者		<input type="checkbox"/> 2日6,000円 <input type="checkbox"/> 1日3,000円		※障害者の介助者については、参加費は免除します。 ※注 現地分科会へお申し込みの方は、実行委員会事務局・自治労連および現地実行委員会(FAX048-866-1186)の両方へFAXでお申し込み下さい。
	住民団体、個人、学生		<input type="checkbox"/> 2日2,000円 <input type="checkbox"/> 1日1,000円		

参加及び弁当申し込み 受付開始:7月9日(月) 締め切り:9月14日(金) 宿泊を伴う参加申込み 締め切り:9月10日(月) *お早めにお申し込みください。

申込み・集会内容のお問い合わせ 実行委員会事務局:自治労連 〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 TEL 03-5978-3580 FAX03-5978-3588
 [E-mail] info@jichiroren.jp <http://www.jichiroren.jp/>

現地歓迎行事

秩父屋台囃子

毎年12月2・3日に行われる秩父夜祭は、日本三大曳山祭の一つです。秩父屋台囃子は、祭で笠鉦と屋台が曳行される際に演奏され、巡行を盛り上げています。この屋台囃子は、国の重要無形文化財に指定された「秩父祭の屋台行事と神楽」の重要な一部になっています。

記念講演

すべての人に、暮らしを守るセーフティネットを(仮題)

講師 阿部 彩 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部長



撮影・高松英昭

【プロフィール】マサチューセッツ工科大学卒業。タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修士号・博士号取得。国際連合・海外経済協力基金を経て、1999年より国立社会保障・人口問題研究所に所属。現在、同研究所社会保障応用分析研究部長。内閣府官房社会的包摂推進室企画官、厚生労働省社会保障審議会臨時委員(生活保護基準部会)などを務める。研究テーマは、貧困・社会的排除・公的扶助論、社会保障論。主な著書に「子ども貧困—日本の不公平を考える」(岩波新書)、「弱者の居場所がない社会」(講談社現代新書)、共著に「生活保護の経済分析」(東京大学出版会、日経・経済図書文化賞受賞)など。

基調フォーラム

模擬国会

「日本国憲法の誠実な実行をめざす特別委員会」(仮題)

「原発・エネルギー政策」「住民の福祉」「自治体と公務労働者の役割」などを議題に、現場からの証言を交えて国会討論方式で議論します。住民側の「議員」が時の「大臣」に論戦を挑み、参加者全員が傍聴者になります。みんなで「議場」を盛り上げましょう。

第1テーマ

暮らしの基盤を確立し、安全・安心で環境にやさしい地域をつくる

1 地域密着・循環経済で安心・安全のまちを

東日本震災では「構造改革」とグローバル経済が命を脅かし、地域密着・循環型経済が復興力を示しました。中小企業振興条例、住宅リフォーム助成など地域経済を考えます。助言者 岡田知弘(京都大学)

2 農林水産業を守り、食の安全を確保する

復興が問われている中、「構造改革」やTPP参加で食の基盤が破壊されようとしています。生産者、消費者、自治体が共同して農林水産業と地域再生の道を探ります。助言者 林直樹(横浜国立大学)

3 分別による循環型社会形成への取り組み—ごみゼロへの道—

過去と現在の循環型社会への取り組みを紹介し、循環型社会・東日本大震災・住民・取集現場・各世代をキーワードとして、めざすべき地域内での方法等について考えます。助言者 広瀬立成(NPO法人「町田発・ゼロ・ウェイストの会」理事長)

4 東日本大震災からみえる住まいとまちづくり

居住空間を提供するだけでなく、人に寄り添った視点やコミュニティの確保、行政とNPOの役割分担など、復興に向けた住宅政策とまちづくりのあり方について議論します。助言者 鈴木浩(福島大学)

5 住民と自治体が創る地域公共交通

今日の社会では、地域の公共交通は、人が住み続けていくための大切な基盤です。住民と自治体がともに創る安全な地域公共交通の再生について考えます。助言者 安部誠治(関西大学)

6 災害に強いまちづくりをどうすすめるか

大震災は、私たちの生活が大きなリスクの上に成り立っていることを認識させました。災害時の対応と復興、何よりも被災予防について、住民主体で自治体の役割を考えます。助言者 山本俊哉(明治大学)

7 原発被害の救済と再稼働中止、原発ゼロをめざす

原発被害からの救済・補償と復興、地域防災計画の確立、再稼働中止、原発ゼロをめざして、再生可能エネルギーへの転換を見守った自治体の政策と運動を考えます。助言者 柳町秀一(原発問題住民運動全国連絡センター)

8 温暖化防止、再生可能エネルギーへの転換を!

3.11は世界を変えました。再生可能エネルギーは十分に実用が可能です。今やらなければ人類に未来はありません。地域から私たちの手で、新時代の扉を開きましょう。助言者 和田武(日本環境学会会長)

9 憲法改悪を阻止し、戦争しない国・自治体をつくるために

憲法を改悪し、戦争する国への準備は今も進められています。基地は?核は?原発は?全国の運動を報告し、平和と命と暮らしを守る地方自治の役割について学びます。助言者 小森陽一(東京大学)

30 ハッ場ダム視察 (9月29日夜出発・現地で前泊)

美しい吾妻渓谷や歴史ある川原湯温泉街をダム湖に沈め、関東1都5県の水がめにするというハッ場ダム。その必要性は?住民の生活再建は?現地の状況を学び視察します。【定員:40名 最少催行人数:15名 実費(参加費の他に必要)15,000円(夕食代、ホテル泊朝食、昼食、バス代込み)】

31 小江戸・川越のまちづくり

小江戸といわれ歴史の残るまち川越。寺社や蔵造りの残る町並みとまちづくりに関して、地元団体の「川越蔵の会」の案内で視察をし、とりくみや実践を学びます。【定員:40名/最少催行人数:10名 実費(参加費の他に必要)2,000円(昼食代込み)】

第2テーマ

人間らしく生き、豊かに学ぶ

10 誰もが人間らしい生活ができるように—セーフティネットのあるべき姿—

セーフティネットが崩壊状態で、生活保護だけが最後の頼りになっています。しかし生活保護の運用は改善されません。誰もが、人間らしい生活が送れる社会を考えます。助言者 吉永純(花園大学)

11 最賃引き上げ、公契約適正化でワーキングプアをなくす

最賃上げの闘いや公契約条例制定の取り組みがすすんでいます。全国の経験を交流し、ワーキングプアをなくし、誰もが人間らしく働ける地域社会づくりを考えましょう。助言者 永山利和(元日本大学)

12 高齢者が安心を託せる介護保障を

介護保険制度見直しと報酬切り下げは現場に深刻な影響を与え、孤立死も広がっています。高齢者を安心してらせる介護保障や、地域の運動、自治体の役割を考えます。助言者 石川満(日本福祉大学)

13 障害者の生活と権利を守る制度を考える

骨格提言を無視し、違憲訴訟と解の基本合意を反故にする総合支援法の問題を明らかにし、本当に必要な障害者の生活と権利を守る制度について、それぞれの立場から考えます。助言者 平野方昭(立教大学)

14 住民のいのちと健康を守る地域医療の確立を

地域医療の崩壊ストップ!救命救急医療を守れ!地域丸ごと健康をめざし、社会保険、そして自治体病院と住民との連携で地域医療を共有財産として発展させる課題を探ります。助言者 牧野忠康(日本福祉大学)

15 住民と働く者の健康づくり—保健所・保健センターの役割を考える—

東日本大震災の教訓から、公衆衛生の重要性が再認識されました。あらためて、住民の命や暮らしを守る視点から、自治体のあり方、保健所・保健センターの役割を考えます。助言者 池上洋通(自治体問題研究所)

16 地方自治が守り育てる国民皆保険制度

公的医療から遠ざけられる住民。「社会保険・税の一体改革」による国民皆保険制度崩壊の危機の中、果たすべき地方自治体の役割と住民運動について考えます。助言者 長友薫輝(三重短期大学)

17 共生の地域づくりと社会教育—図書館・公民館の役割を考える—

現代の貧困に立ち向かう「権利としての社会教育」の創造が求められています。社会教育・生涯学習の実践の蓄積に学びながら、地域づくり運動も視野に可能性を展望します。助言者 上田幸夫(日本体育大学)

18 子どもの育つ環境を考える(就学前)

「子ども育て新システム」で、保育や子育ての制度がどのように変わるのか?子どもが健やかに育つ環境をつくるために、国と自治体の役割を考えます。助言者 猪熊弘子(ジャーナリスト・東京都市大学)

19 子どもたちの生活と権利を考える(就学後)

子どもの文化的な状況(遊びや仕事、家庭や地域の生活)をていねいにつかみ、成長する上で何が課題になっているかを探ります。各分野でのとりくみを交流します。助言者 石原剛志(静岡大学)

20 地域をつくる安全で豊かな給食を

子どもの食育が重要になっています。安全が確認できない外国産、放射性物質に汚染された食材の問題が渦巻く中、安全で豊かな給食を実現するための政策と運動を考えます。助言者 新村洋史(名古屋芸術大学)

第3テーマ

暮らしをささえ、自治を育て、住民本位の自治体づくり

21 地域主権改革で都道府県・市町村はどうなる

「地域主権改革」の名の下に進められている「義務付け・枠付け見直し」、「権限移譲」など、自治体構造改革が都道府県・市町村、さらに住民へ及ぼす影響を検証します。助言者 村上博(広島修道大学)

22 市町村合併の検証と住民主体の地域づくり

暮らしの破壊と地域コミュニティの衰退をもたらした平成の大合併。「地域主権改革」でさらに地域の破壊がねらわれる中、市町村合併を検証し、住民自治再生の課題を探ります。助言者 平岡和久(立命館大学)

23 公共サービスの市場化・民営化を考える

新自由主義、「地域主権改革」は公共サービスをどう変えるのか、住民と自治体労働者は、何を守ろうとしているのか。基本的な権利を保障する自治と公共のあり方を考えます。助言者 尾林芳匡(弁護士)

24 「新しい公共」と住民自治のしくみ・コミュニティを考える

「新しい公共」の名で自治体の役割を縮小する動きがさらに進んでいる中、住民に身近な自治の仕組みを、町内会・自治会、NPO、ボランティアの現状にふれ議論します。助言者 石倉康次(立命館大学)

25 まちの財政分析と住民本位の行財政運営

財政分析の取り組みの交流と、「地域主権改革」や「社会保険・税の一体改革」で自治体財政はどうなるのかを学び、わがまちの行財政改革に役立つ力を身につけます。助言者 川瀬憲子(静岡大学)

26 住民の声が生きる自治体づくり

主権者である住民の声がいきる自治体はどうつくるのか?首長・議会・住民・自治体労働組合はどんな役割を担うのか?各地のとりくみを交流しあひながら考えます。助言者 吉田万三(元立法局長・全日本医連)

27 住民のために働く公務員のあり方、仕事を考える

大震災で痛感した公務労働の大切さ。「構造改革」や「維新改革」で疲弊する職場。委託や非正規化など激変する現場で、住民の願いに向き合う公務員労働者のあり方を考えます。助言者 二宮厚美(神戸大学)

28 ジェンダー平等の視点で自治体行政を考える

「男女共同参画」を推進すべき自治体行政で、予算・人員削減を口実に女性行政が劣化しています。女性保護行政をはじめ現状をジェンダー視点で見つめ、あるべき姿を探ります。助言者 竹信三恵子(ジャーナリスト・和光大学)

29 講座 地方自治入門~住民自治を育てる

地方自治の発展方向は、住民自治と対話にあった!講座では「ごんには」から始まる地域の運動を学び討論します。多くのおみえさん、とりわけ青年の参加を歓迎します。助言者 広原盛明(京都府立大学)



ナイター講座 分科会のテーマに対応して事前学習を行い、分科会の内容に反映させます。 17:30~19:00

第1テーマ(第1~9分科会に対応)

地域経済再生、震災復興 再生可能エネルギー いかす地域づくり

講師 岡田知弘(京都大学)



地域を疲弊させた「構造改革」を転換し、地域経済の再生、住民本位の震災復興、原発ゼロと再生可能エネルギーをいかす地域づくりを学びます。

第2テーマ(第10~20分科会に対応)

「社会保障・税の一体改革」と社会保障のあり方

講師 日野秀逸(東北大学)



消費税増税を柱にした「社会保障・税の一体改革」は地域住民の暮らし、福祉に何をもちよるか。憲法をいかす社会保障政策や財源のあり方を学びます。

第3テーマ(第21~29分科会・講座に対応)

「地域主権改革」の争点と国・自治体の役割

講師 二宮厚美(神戸大学)



「地域主権改革」や「維新改革」は、国のかたちをどのように変えようとしているのか。憲法にもとづき国と地方自治体が果たすべき役割を学びます。

物産展・売店

埼玉や被災地の特産品をはじめ、物産展・売店を開きます。

青年企画

語ろうとことん! 青年しゃべり場in埼玉

17:30~19:00

自治体・公務公共関係で働く青年が集まり、仕事、生活、その他なんでも、思いを自由に語ってもらう「しゃべり場」を開催。全国の青年とつながりをつくり、とことん語りましょう!ゲームなど楽しい企画も計画中です。初参加の人も大歓迎!

会場案内図

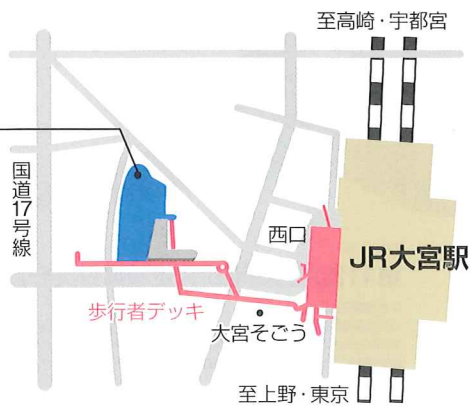


Table with 3 columns: 新幹線で (New Shinkansen), 在来線で (Conventional Line), 空港から (From Airport). Lists routes to Maebashi Station from various locations like Niigata, Tokyo, and Osaka.

●JR大宮駅西口から歩行者デッキにて直結。徒歩3分

大宮ソニックシティ

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL.048-647-4111

現地 申込受付はファックスで直接現地実行委員会へ 048(660)1181 FAX 048(660)0661

●実費は当日徴収 ●現地分科会の参加には集会参加費の他に上記の実費が必要で。